

旭川市科学館報

— 令和6年度版 —

Vol.17

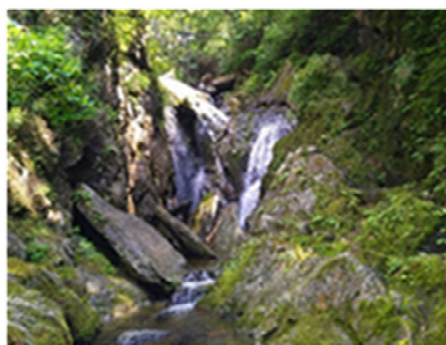
令和7(2025)年



企画展「ヒグマの科学」



紫金山・アトラス彗星



川登りと変成岩の観察

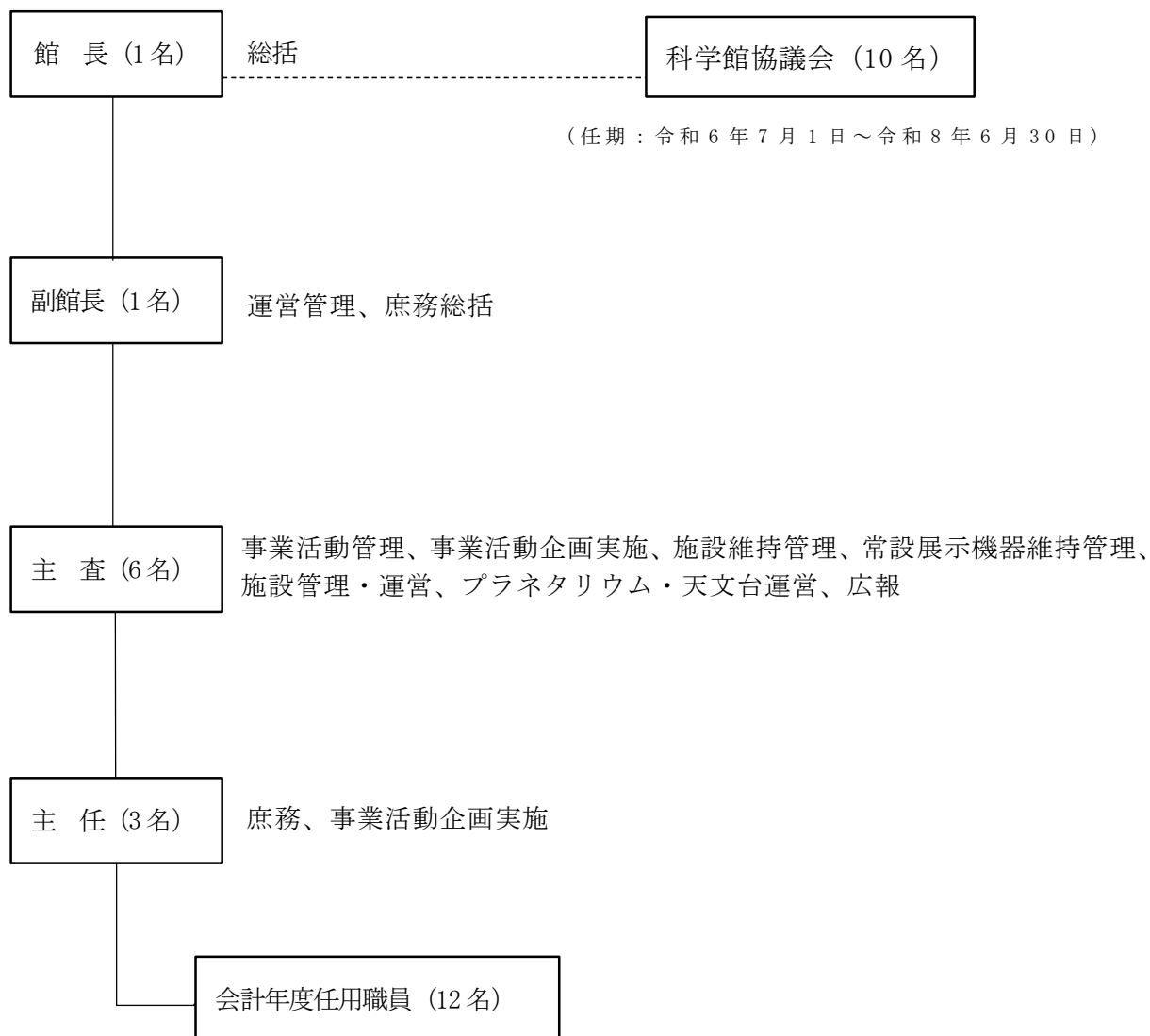


企画展「くらしに役立つ昆虫展」

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 沿革	2
3 施設概要	3
4 主要設備等	4
5 利用状況	6
II 学習普及活動	
1 展示事業	7
2 実験実習事業	8
3 科学イベント・行事	13
4 天文普及事業	16
5 学校等連携・人材育成事業	20
6 ボランティア等との連携事業	20
III その他の取組	
1 調査研究活動	22
2 刊行物	22
3 広報活動	23
4 旭川市科学館施設整備基金	24
IV 旭川市科学館利用案内	
1 開館時間・休館日	24
2 観覧料	25
3 貸室事業	26
4 施設へのアクセス	27

運営組織及び職員数



レファレンスルーム運営管理、理科実験指導、電子工作指導、パソコン指導、木工模型工作指導、天文観測指導、プラネタリウム解説、団体観覧受付、事務補助

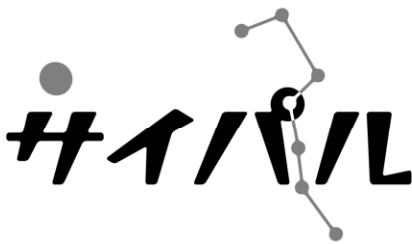
科学館職員 計 23 名
(令和7年4月1日現在)

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

現在、気候変動に伴う災害の増加や人為的な要因も含む生物多様性の損失など、私たちの生活と深く関係している様々な課題が、地球規模で発生しています。そうした課題に対応していくためには、科学の分野の枠を超えた、柔軟な発想をもつ人材の育成が必要とされています。

旭川市科学館「サイパル」では、様々な科学に関する情報を伝え、科学への関心や理解を深めるため、「ふしぎからはじまる<科学>との出会い」をテーマに、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とした多彩な学習普及活動を進めています。



旭川市科学館の愛称「サイパル」の由来

「サイパル」とは SCIENCE（科学）と PAL（仲間、友達）を組み合わせた言葉です。

また、様々な科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。

科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。



旭川市科学館
マスコットキャラクター
「コロッ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロッ・クルは、アイヌの伝承に登場するコロポックルからネーミングされました。

2 沿革

昭和 38 年 11 月 3 日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成 17 年 1 月 30 日	新築移転のため閉館
平成 17 年 7 月 4 日	博物館登録原簿に登録（登録記号番号：北博登録 53 号）
平成 17 年 7 月 23 日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に移転、開館
平成 17 年 8 月 13 日	入館者 10 万人を達成
平成 18 年 5 月 4 日	入館者 50 万人を達成
平成 19 年 8 月 10 日	入館者 100 万人を達成
平成 23 年 3 月 13 日	入館者 200 万人を達成
平成 26 年 11 月 9 日	入館者 300 万人を達成
平成 27 年 7 月 23 日	新館開館 10 周年
平成 30 年 7 月 15 日	入館者 400 万人を達成
令和 2 年 7 月 23 日	新館開館 15 周年
令和 3 年 2 月 25 日	旭川市科学館施設整備基金「サイパル☆みらい基金」設置
令和 5 年 10 月 28 日	入館者 500 万人を達成



3 施設概要

旭川市科学館は「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置し、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学ぶことが大きな特徴です。

館内では多くの方が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階に、大小2基の天文台を4階に配置し、子供から高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

また、シンボル展示「水竜」や、国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など優れた地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

敷地内には、鳥や昆虫などを観察できる野外自然観察空間を設けているほか、屋外に雪室棟を設置し、冬期の駐車場の排雪を利用して夏期の消費電力を抑える雪冷房システムを導入するなど、環境に配慮した取組を行っています。

・所在地	旭川市宮前1条3丁目3番32号
・敷地面積	27,099.65 m ²
・延床面積	5,799.60 m ² (車庫棟・雪室棟を除く)
・構造	鉄筋コンクリート造, 一部プレストレストコンクリート造, 鉄骨造4階建
・総事業費	48億1,432万3千円 (用地購入費, 一部外構工事等除く)

(1) 各室の内訳

1階	常設展示室 (1,600 m ²)	[4 (1) 常設展示室] 参照 (P4)
	特別展示室 (187 m ²)	展示会やイベントを開催
	プラネタリウム (570 m ²)	[4 (2) プラネタリウム] 参照 (P5)
	学習・研修室 (156 m ²)	126席、各種視聴覚機器
	インフォメーション	観覧受付
	エントランスホール	シンボル展示、休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	科学グッズ等の販売
	事務室ほか	—
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	[4 (4) レファレンスルーム] 参照 (P6)
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置 (2か所)
	空調機械室、熱源機械室等	※一般開放スペースなし
3階	発電機室	※一般開放スペースなし
4階	天文台 (90 m ²)	[4 (3) 天文台] 参照 (P5)
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台、大型バス6台 身障者用駐車場5台、自転車100台
	エントランス広場、円環広場	休憩・昼食場所、野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間 (約5,000 m ²)	在来種の雑木林、トンボ池、2基の野外展示など

4 主要設備等

(1) 常設展示室

北国・地球・宇宙をテーマとした全 46 点の体験型の展示物、科学に関する 2D・3D 映像を上映するサイエンスシアターを設置。

		テーマ	展 示 名			
展 示 物		北国 (全 8 点)	■氷河期と海面変位 ■ナダレンジャー ■水滴のダンス	■虫の目から見た自然 ■北国の天気 ■低温実験室	■雪の結晶 ■旭川ズームイン!	
		地球 (全 32 点)	■身体ズームイン ■人体スキャン ■風をおこそう ■手さぐりの通路 ■ジャンボシャボン ■影で遊ぼう ■スピードガン ■火山をつくろう ■人類の進化 ■大陸移動 ■三つも錯覚が含まれるふしぎな輪 ■いまの地球とみらいの地球 ■錯覚いろいろコーナー ■10TOWN (イチマルタウン)	■内臓パズル ■消化器のはたらき ■ボールコースター ■錯覚の部屋 ■空中スクリーン ■バーチャルフライト (休止中) ■ボディーアタック ■雲をつくろう ■地球環境問題クイズ ■温暖化から地球を救え	■呼吸のしくみ ■生命の誕生 ■電磁サークル ■光のサッカー ■光の三原色 ■地震体験 ■対流をみよう! ■燃料電池のしくみ	
		宇宙 (全 6 点)	■ムーンジャンプ ■星の回転運動	■宇宙ゴマ ■クイズスペース 1	■月の満ち欠け ■宇宙飛行士になろう	
サイ エ ン ス シ ア タ ー	3 D	北国	■雪の結晶	■大雪山の成り立ち	■エゾモモンガ	■北国の四季
		地球	■巨大台風	■オーロラその神秘に迫る	■氷河と地球温暖化	
		宇宙	■宇宙ステーション ■毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星	■暗黒の天体ブラックホール		
	2 D	北国	■石狩川夢の旅人			
		地球	■謎の深海底			
		宇宙	■テラフォーミング ~地球から火星へ~	■宇宙で生きる人類		



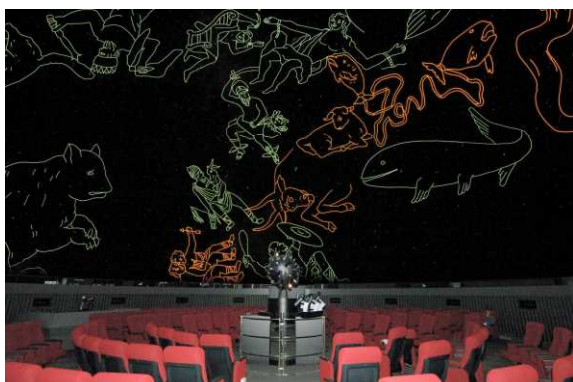
常設展示室



錯覚いろいろコーナー

(2) プラネタリウム

面積	670 m ² (客室 232 m ² 、ロビー228 m ² 、プロジェクションギャラリー112 m ² 、その他 98 m ²)
ドーム	直径 18m、水平型・平面床 170 席 (うち固定席 73 席、一部回転席 64 席、2 人掛けシート 10 席、車椅子スペース用移動席 23 席)
投影機	コンピュータ制御、光源・光ファイバー式スターマスターZMP (カール・ツァイス社製)、全天周ドーム映像装置など付設
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生解説によるマニュアル投影 ・国内初のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機 ※導入当時 ・同心円配列の座席としては、国内初の回転可動式座席採用 (一部)



スターマスターZMP (カール・ツァイス社製)

(3) 天文台

位置	北緯 43 度 45 分 23 秒 東経 142 度 22 分 13 秒 標高 143m
面積	173 m ² (大天文台 50 m ² 、小天文台 19 m ² 、準備室 20 m ² 、その他 84 m ²)
大天文台	ドーム直径 8m、口径 65 cm カセグレン式反射望遠鏡 (三鷹光器製) 及び付属望遠鏡 2 基設置、光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設、コンピュータコントロール方式、遠隔操作・観測画像配信システム
小天文台	ドーム直径 5m、口径 20 cm 屈折望遠鏡 (三鷹光器製) 及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡 2 基設置、太陽投影板・太陽用 H α フィルター、太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設、コンピュータコントロール方式、遠隔操作・観測画像配信システム
観測デッキ	口径 10 cm の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察



天文台設備

(4) レファレンスルーム

設置・使用目的	各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用
備付け備品類	走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)、双眼顕微鏡、その他各種観察・実験器具
備付け資料など	科学関係図書・DVD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体ほか

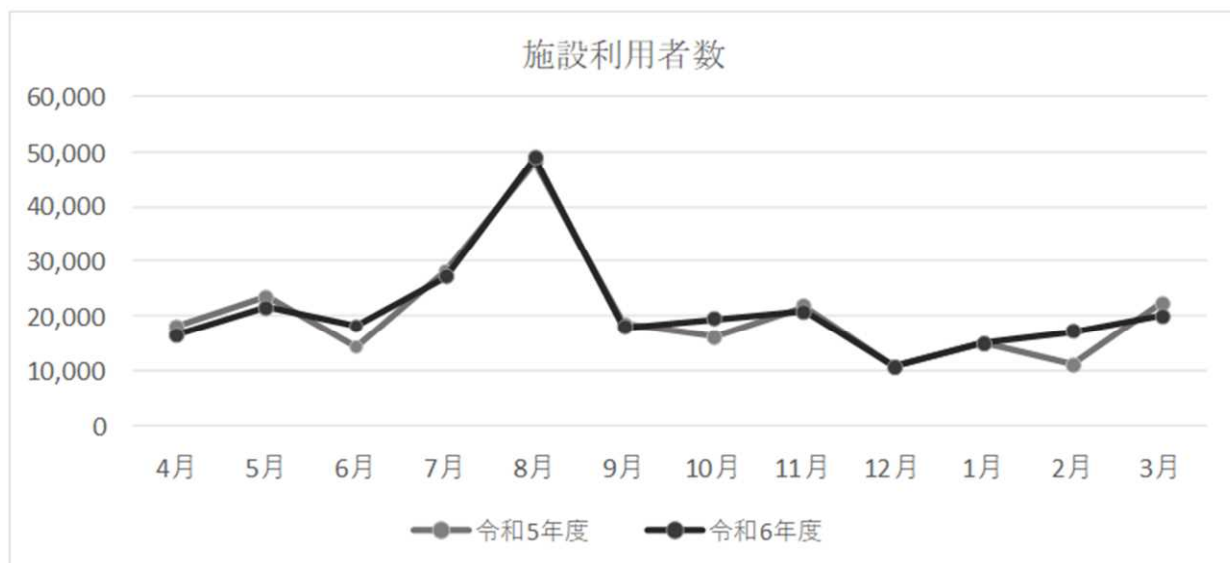
5 利用状況

(1) 施設利用者数 (令和6年度)

(単位：人)

内訳 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動等 参加者	その他	合計	令和5年度
4月	7,105	3,401	1,096	1,595	3,160	168	16,525	18,023
5月	9,007	4,000	1,426	1,534	5,694	0	21,661	23,488
6月	6,822	3,337	1,093	1,258	5,458	185	18,153	14,255
7月	10,956	5,594	1,175	2,113	7,339	0	27,177	28,273
8月	16,852	8,435	2,202	3,494	17,917	8	48,908	48,141
9月	6,929	3,348	779	1,221	5,641	0	17,918	18,555
10月	6,735	3,016	939	1,265	7,384	125	19,464	16,266
11月	7,326	4,215	973	1,628	6,531	0	20,673	21,707
12月	3,815	2,397	388	772	3,291	0	10,663	10,619
1月	4,717	2,344	592	995	4,875	1,341	14,864	14,880
2月	5,014	2,283	733	1,388	7,283	463	17,164	11,106
3月	8,734	4,171	1,078	2,296	3,429	290	19,998	22,224
合計	94,012	46,541	12,474	19,559	78,002	2,580	253,168	247,537

※日平均入館者数 833人/日 (開館日数：304日)



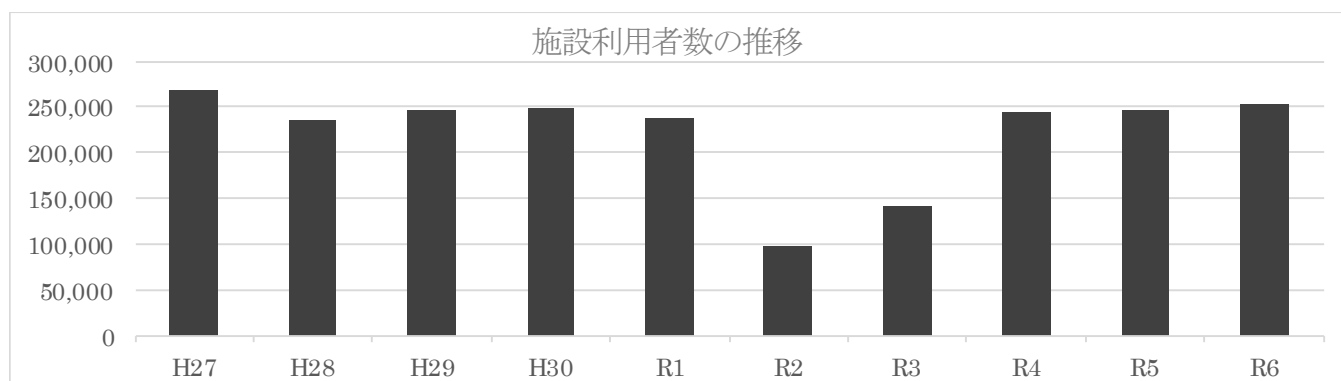
(2) 施設利用者数の推移

(単位：人)

内訳 年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンス ルーム	事業活動 ・その他	合計	備考
H27	113,324	49,491	15,163	19,110	70,161	267,249	6月～9月無休開館
H28	100,312	46,873	13,350	17,568	56,555	234,658	〃
H29	100,421	38,131	12,877	20,283	74,425	246,137	〃
H30	100,536	38,582	12,316	21,112	76,441	248,987	〃
R1	89,232	34,099	13,074	20,974	80,026	237,405	7/23～9/1 無休開館
R2	45,552	20,438	7,916	9,076	14,901	97,883	※1
R3	56,492	28,278	8,756	11,480	37,360	142,366	※2
R4	92,393	43,033	13,259	15,620	80,236	244,541	7/20～9/4 無休開館
R5	98,079	50,423	14,199	19,344	65,492	247,537	7/19～8/20 無休開館
R6	94,012	46,541	12,474	19,559	80,582	253,168	7/23～8/18 無休開館

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/20～5/24 臨時休館

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため5/18～6/20、8/20～9/29 臨時休館



II 学習普及活動

1 展示事業

(1) 常設展示利用者数

(単位：人)

区分 月	個人					団体					合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4月	3,152	77	3,246	251	6,726	25	0	265	89	379	7,105
5月	3,392	95	2,924	285	6,696	0	28	2,001	282	2,311	9,007
6月	2,234	37	2,056	216	4,543	36	51	1,789	403	2,279	6,822
7月	4,044	72	3,939	340	8,395	22	0	1,948	591	2,561	10,956
8月	7,425	208	7,284	640	15,557	0	0	936	359	1,295	16,852
9月	2,659	68	2,315	224	5,266	21	0	1,274	368	1,663	6,929
10月	2,658	62	2,250	272	5,242	121	0	1,046	326	1,493	6,735
11月	3,592	66	3,019	214	6,891	50	32	218	135	435	7,326
12月	1,648	38	1,399	137	3,222	0	0	438	155	593	3,815
1月	2,149	47	1,995	198	4,389	0	0	218	110	328	4,717
2月	2,387	38	2,172	220	4,817	0	27	108	62	197	5,014
3月	4,027	126	3,806	327	8,286	0	0	264	184	448	8,734
合計	39,367	934	36,405	3,324	80,030	275	138	10,505	3,064	13,982	94,012

※「その他」は観覧料免除者（手帳保有者若しくは要介護者とその介助者、引率者等）

(2) 企画展

ア「くらしに役立つ昆虫展」

【開催概要】

人類が生活を豊かにするために昆虫を利用してきた事例をテーマとして、養蜂や養蚕などを紹介した。これらの伝統的な産業に関する基礎研究の成果や製品等への応用例を通して、昆虫をより身近に感じ、理解を深める機会を作ることを目的とした企画展を開催した。

- ・主 催 企画展開催実行委員会
(旭川市教育委員会、サイエンスボランティア旭川、旭川市小学校長会、旭川市中学校長会)
- ・開催期間：令和6年7月13日(土)～9月1日(日)
- ・入場者数 14,064人

イ「ヒグマの科学」

【開催概要】

クマ類による被害が全国的に頻発しており、旭川において中心市街地におけるヒグマ出没が相次ぐなど、ヒグマは市民にとって関心の高い話題となっている。

人身被害のみならず様々な形態の被害を防ぐため、ヒグマが本来は雑食性であることや、市街地への出没は人を襲うためではないことなど、ヒグマの生態や人間の関わり方について正確な知識の普及を図ることを目的とする企画展を開催した。

- ・主 催 企画展開催実行委員会(同上)
- ・開催期間：令和6年9月14日(土)～10月27日(日)
- ・入場者数 7,374人

企画展示		始期	終期	人数(人)
	くらしに役立つ昆虫展	7/13(土)	9/1(日)	14,064
	ヒグマの科学	9/14(土)	10/27(日)	7,374
合計				21,438

2 実験実習事業

(1) 講演・講座

ア 市民科学講座「サイエンス・セミナー」

	講 師	内 容	参加者数	開催日
第1回	小林快次 旭川市科学館顧問 北海道大学総合博物館教授	恐竜ハカセのトークライブ	126人	10/27
第2回	諸野祐樹 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 上席研究員	地球深部探査船「ちきゅう」とつながろう！	61人	11/23
第3回		生物がすむ果てはどこだ？	49人	11/23
第4回	渡部潤一 旭川市科学館顧問 国立天文台特任(上席)教授	彗星の面白さ —紫金山・アトラス彗星を振り返って—	88人	12/1
第5回	馬場悠男 旭川市科学館顧問 国立科学博物館名誉研究員	顔の進化	46人	3/23

(2) 実験実習・体験講座

ア 科学館クラブ

	クラブ名	内 容	対 象	参加者数	開 催 日
前 期	星・宇宙	季節の星座や一等星、惑星の解説と望遠鏡による観測	小3～中学生の親子	74人	5月～9月の土・日・祝日(5回)
	理科	実験、工作、観察	小3、小4	109人	5月～7月の木・日曜日(4回)
	木工クラフト	木工品の設計から加工までの一連の作業を学び、旭川家具に触れる	小5～中学生	33人	5月～6月の日曜日(6回)
	電子工作	電子工作と電気通信の体験	小4～小6	63人	5月～9月の土曜日(8回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って、プログラミングの考え方を学ぶ	小5、小6	70人	6月～9月の日曜日(10回)
	実験	実験、工作、観察	小5、小6	44人	6月～7月の日曜日(4回)
後 期	星・宇宙	季節の星座や一等星、惑星の解説と望遠鏡による観測	小3～中学生の親子	73人	11月～3月の土・日(5回)
	理科	実験、工作、観察	小3、小4	48人	10月～12月の土曜日(4回)
	木工クラフト	木工品の設計から加工までの一連の作業を学び、旭川家具に触れる	小5～中学生	31人	10月～12月の日曜日(6回)
	電子工作	電子工作と電気通信の体験	小4～小6	69人	10月～2月の土曜日(8回)
	パソコン	教育用プログラミング言語を使って、プログラミングの考え方を学ぶ	小5、小6	72人	11月～2月の日曜日(10回)
	実験	実験、工作、観察	小5、小6	33人	10月～12月の日曜日(4回)
通 年	いきもの地球	生物の捕獲や観察の体験を通して生態系や地球環境について学ぶ	小4～小6	106人	5月～3月の土・日曜日(8回)
冬 期	理科	実験、工作、観察	小3、小4	60人	1月～3月の土曜日(4回)
	実験	実験、工作、観察	小5、小6	30人	2月～3月の日曜日(4回)

イ 親子でチャレンジ! わくわく実験室

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
親子で協力して取り組む実験実習や製作活動を体験	小1、小2と保護者	216人	5月～7月の土・日曜日(4回)
		172人	11月～12月の土・日曜日(4回)
		210人	1月～3月の土・日曜日(4回)

ウ こども科学博士

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
こねこねコネコネ	年中～小2 と保護者	28 人	7/27
よく飛ぶ紙飛行機	小1～小3 と保護者	28 人	8/10
ビー玉万華鏡	小学生以上 (小3 以下は保護者同伴)	46 人	12/28、29
グミ石けん	小1～小3 と保護者	52 人	1/11、18

エ ちょっと大人の科学実験

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
大人の発電実験	中学生以上	3 人	9/28

オ パソコン基礎講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
文字入力マスター編	成人のパソコン初心者	4 人	5/12
はじめての Word 講座		13 人	7/14、15
インターネット基礎編		10 人	10/14
はじめての Excel 講座		14 人	2/15、16
ホームページ活用編		6 人	3/16

カ はじめてのスマートフォン講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
スマートフォン初心者に、用語や基礎スキルを学ぶ機会を提供する	成人のスマートフォン初心者	7 人	7/6、1/25

キ 親子ではじめるプログラミング講座

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミングアプリ「ビズケット」を使用し親子でプログラミングの基礎を学ぶ	小1・小2 と保護者	45 人	7/28、12/22
プログラミングアプリ「スクラッチ」を使用し親子でプログラミングの基礎を学ぶ	小3・小4 と保護者	61 人	7/20、21 1/11、12

ク レッツプログラミング

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
参加者が自主的にプログラミングを学べるように実習室を開放し、各レベルに合わせてプログラミングトレーニングを行える場を提供する	小学生以上 (小3 以下は保護者同伴)	203 人	4/7～8/18

ケ 中高生のためのプログラミング教室「Python 入門講座」

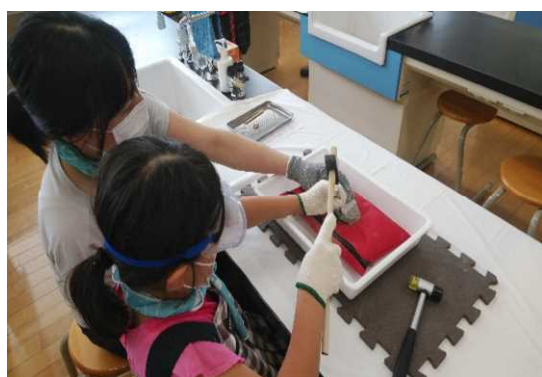
内 容	対 象	参加者数	開 催 日
プログラミング言語「Python」の基礎から応用までを学ぶ	中学生・高校生	61 人	8/3～11/9 の土曜日

コ 地学体験学習

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
岩石の分類と観察	小学生以上	52 人	4/13、4/20
砂から見える世界	小学生以上	21 人	5/11
アンモナイト化石の中を調べよう	小学生以上	59 人	7/24、7/31
アンモナイトクリーニング体験	小学生以上 (小3以下は保護者同伴)	33 人	7/26、8/2
マグマをつくろう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	37 人	9/21
誕生石の標本作りと鉱物の色	小学生以上	70 人	12/8
ビスマス結晶づくり	小学生以上	76 人	1/18、1/19

サ 生きもの観察

内 容	対 象	参加者数	開 催 日
特定外来生物ウチダザリガニ	小学生以上 (小3以下は保護者同伴)	24 人	4/6
スルメイカ	小学生以上 (小3以下は保護者同伴)	31 人	10/14



アンモナイトクリーニング体験



ビスマス結晶づくり



マグマをつくろう



生きもの観察「スルメイカ」

(3) ものづくり教室

内 容		対 象	参加者数	開 催 日
市民木工教室	ミニベンチの製作	高校生以上	10人	8/31～9/8
	飾り棚の製作		6人	1/18、19
親子木工教室	とんとん編	小1、小2と保護者	30人	7/20、21
			16人	12/21、22
	ぎこぎこ編	小3、小4と保護者	30人	7/27、28
			30人	12/28、29
工作、きほんの「き」	合板で小さな腰かけを作ろう	小3～大人	13人	10/19、20
	バランス可変ヤジロベエを作ろう		12人	2/8、9
糸のこ体験工作	木のキーホルダー作り など	どなたでも	3,212人	通年
テック・ラボ	オープンラボ	小学生以上	3,145人	通年
	オープンラボ(木工)	小学生以上	2,685人	通年
	工作ワークショップ	小5以上	13人	10/20、27 3/15
	キッズ電子工作	小4～中学生	23人	10/12、2/8
	親子の電子工作	小1～3	71人	7/20、8/10、12 9/14
	趣味の電子工作	中学生以上	9人	9/16、23、3/20
	たいけんラボ	小学生以上	157人	通年

(4) 野外活動

内 容		対 象	参加者数	開 催 日
地学系	地学体験バスツアー 「神居古潭で『古いモノ』を探そう」	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	13人	5/6
	河原で石拾い	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	21人	6/22
	絶景！川登りと変成岩を見よう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	2人	8/11
	岡田弘名誉館長と行く！地学体験バスツアー 「火砕流から見た『あさひかわ』」	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	16人	10/12
自然系	探鳥会「神楽岡公園の野鳥」	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	55人	4/27
	トンボ池の観察	小学生と保護者	21人	6/23
	水辺の生きもの観察	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	21人	7/15
	特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	97人	6/29、 7/20、8/10
	サケ遡上見学会	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	19人	10/13

「光に集まる昆虫」の観察	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	34人	7/28、8/11
冬の自然観察会	小学生以上 (小学生は保護者同伴)	13人	2/11



水辺の生きもの観察



特定外来生物ウチダザリガニを捕まえよう

3 科学イベント・行事

(1) 科学イベント

ア サイエンススタジオ

内 容	参加者数	開催日
サイエンスショー「錯覚いろいろ」「科学マジック」	1,401人	4/27～5/6
サイパル夏の科学緑日	3,556人	8/11～8/16
VRからだの錯覚体験会	154人	2/11

イ サタデーサイエンスひろば

内 容	参加者数	開催日
月毎にテーマを変え公開実験ショーを実施	4,174人	土曜日(計49回)

ウ 低温実験

内 容	参加者数	開催日
氷点下30℃の低温実験室で、過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	4,802人	通年

エ 科学館まつり

内 容	参加者数	開催日
常設展示室・プラネタリウム無料開放,各種無料体験ブースを出展(参加人数2,332人は事業実施分。常設展示室等の無料観覧や,天文などはそれぞれの事業に含まれる)	2,332人	11/3

オ わくわくワーク（※はサイエンスボランティア旭川による実施）

内 容	参 加 者 数	開 催 日
フライトシミュレータ（※）	16人	11/30
スライムハンド	40人	12/7
あまのじゃくライト（※）	52人	12/14
変形型月面ロボットSORA-Q操作体験	26人	12/21
ガウスの加速器（※）	51人	1/18
小さなモノの世界	49人	1/25
星座のカライドサイクルをつくろう（※）	28人	2/1
よく飛ぶ紙ヒコーキ	59人	2/8
空気の流れの変化（※）	22人	2/15
スマホでミニ顕微鏡	12人	2/22
「こま」であそぼう（※）	20人	3/8
サソリのおみやげ	43人	3/15

カ ミニミニ展示

内 容	参 加 人 数	開 催 日
シロザケ生態展示	1,955人	10/1～11/17
北海道立旭川美術館 オブアート展 連携事業 「旭川市出身画家の錯覚作品」	2,242人	1/7～3/16

キ 科学館 de SDGs

内 容	参 加 者 数	開 催 日
常設展示「いまの地球とみらいの地球」のデジタル地球儀を用いて、環境問題をはじめとした地球規模の様々な課題からSDGsについて説明する演説を実施	309人	4/1～3/27 (指定された日)

ク その他のイベント

内 容	参 加 者 数	開 催 日
液体窒素を使ったゲリラ実験	46人	7/4
ミニ企画展 酸化と還元	1,265人	12/21～1/11
新春ワークショップ(綿あめ実験・スライムハンド・変形型月面ロボットSORA-Q操作体験)	276人	1/2

(2) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール

科学的な探求心と想像力を伸ばし、科学に対する親近感を助長させることを目的とした、旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト。

【応募者数】 小学生9人、中学生73人

【優秀作品展示会】 11/23～12/1 【来場者数】 570人

【特別賞受賞者表彰式】 11/23 【出席者数】 49人

イ 「宇宙の日」全国小・中学生作文・絵画コンテスト

小・中学生に宇宙や天文について夢と興味を持ってもらうことを目的とした、「宇宙の日」記念行事として開催される作文・絵画作品のコンテスト。

【応募者数】

- ・作文の部 小学生 1人 中学生 応募なし
- ・絵画の部 小学生 12人、中学生 76人

【優秀作品展示会】 12/21～1/11 【来場者数】 1,265人

【表彰式】 12/20 【出席者数】 30人

ウ 科学技術週間行事（「一家に1枚」ポスターの配布）

科学技術の理解促進を目的とした文部科学省監修による学習資料『世界とつながる“数理”』を自由に持ち帰ってもらえるよう、4月16日(火)から館内に配置。

エ 科学技術映像祭入選作品上映会

科学技術映像祭入選作品の一部を、開館時間中にエントランスホールにてリピート上映。

【期間】 休館日を除く土日祝および長期休暇期間

【上映作品】

- ・NHKスペシャル 映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編
- ・ガリレオX 地衣類の世界 身近な謎多き生命体
- ・居間からサイエンス ～地球誕生の謎に迫る！地下2600キロの大発見
- ・ダーウィンが来た！生きものの不思議を解き明かせ！子ども研究者スペシャル
- ・テレメンタリー2023 プラスチックの行方～水の国からの警鐘～
- ・所さんの目がテン！かがくの里 フクロウプロジェクト
- ・フロンティア 人間の知能は作れるか？～AI 究極の知能への挑戦～
- ・THE MAKING (326) 通販の荷物がとどくまで
- ・日本のチカラ 口福の献立 ～お腹と心を満たす嚙下食～
- ・目撃者f リンゴ飴のこえ ～難聴って、なんなん？～
- ・常呂川下流域の古代文化を解く
- ・学校で使える理科実験 絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方法！松ぼっくりのびん詰め作りの方法と理由を解説しました。
- ・ガリレオX 自己組織化 無秩序な世界から秩序を生み出す不思議なプロセス
- ・なぜ水星へ行くのは最も難しいのか？ 全惑星へのアクセス時間比較

オ 共催・協力事業

内 容	共催・協力先	参加者数	開 催 日
花フェスタ2024	旭川市土木部公園みどり課	2,013人	6/12～16
みどりの回廊展	旭川自然共生ネットワーク	213人	6/22、23
わくわくサイエンス in 科学館	旭川ウェルビーイングコンソーシアム	791人	6/30
「イオンモール旭川駅前ライトダウンキャンペーン」連携展示	イオンモール株式会社 イオンモール旭川駅前	162人	7/16、17
感じる数学2024 in 旭川	サイエンスボランティア旭川	706人	7/31～8/4
測量・ドローン体験学習	道北若力会	450人	11/4

私たちの身の回りの環境地図作品展	環境地図教育研究会	250人	11/16、17
高専ってこんなに楽しい	旭川工業高等専門学校	139人	12/9
わくわくサイエンス in 科学館	旭川ウェルビーイングコンソーシアム	1,350人	2/2
ワークショップ からだの錯覚体験会 [スライムハンド]	旭川美術館	62人	2/8
雪崩のメカニズム	道北地方山岳遭難防止対策協議会	11人	2/8
大雪山カムイミンタラ ジオフェスティバル	大雪山カムイミンタラジオパーク 構想推協議会	2,985人	2/23

4 天文普及事業

(1) プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般番組を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影を展開している。

ア 観覧者数

(単位:人)

区分 月	令和6年度					前年度	団体観覧	
	大人	高校生	小人	その他	小計		団体数	観覧者数
4月	1,561	32	1,587	221	3,401	3,484	10	278
5月	1,797	46	1,887	270	4,000	4,237	12	795
6月	1,214	10	1,819	294	3,337	3,230	24	1,153
7月	2,194	57	2,845	498	5,594	6,112	42	1,340
8月	3,711	99	3,953	672	8,435	9,914	32	787
9月	1,424	19	1,568	337	3,348	4,423	31	781
10月	1,314	23	1,361	318	3,016	3,819	24	861
11月	2,216	73	1,737	189	4,215	4,200	12	287
12月	1,008	27	1,155	207	2,397	2,154	18	569
1月	1,147	30	1,010	157	2,344	2,401	8	197
2月	1,234	22	894	133	2,283	2,282	4	51
3月	2,024	84	1,771	292	4,171	4,167	12	234
合計	20,844	522	21,587	3,588	46,541	50,423	229	7,333

※「その他」は観覧料免除者(手帳所有者若しくは要介護者とその介助者、引率者等) ※団体観覧は観覧者の内数

イ 投影内容(アの内数)

(ア) プラネタリウム一般番組

旭川の星空を中心に約40分の星座解説を行う。投影担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。番組は季節の星座のほか、テーマに沿った天文現象の解説などを行う。

番組タイトル	テーマ	投影回数	観覧者数	投影期間
星雲と星団	星雲と星団について	104回	1,053人	4/1~30
惑星旅行	惑星をめぐる旅	112回	1,775人	5/1~6/30
流星の正体	流星について	97回	3,511人	7/1~8/31
月と衛星のお話し	月と衛星について	97回	1,800人	9/1~10/31
クリスマスのお話し	クリスマスと星座について	97回	1,632人	11/1~12/31
冬の宝石箱	冬の星座について	90回	1,305人	1/1~2/29
地球兄弟	惑星について	55回	1,214人	3/1~31

(イ) プラネタリウム特別投影

a ドームシアター（全天周デジタル映像投影装置を利用した上映）

番組タイトル	内 容	投影回数	観覧者数
スペースフロンティア ～宇宙飛行士この一歩の ために～	若田宇宙飛行士がナビゲートする、ロケ ット打ち上げから火星までの宇宙開発の 道のりについて	155回	3,645人
アジアンヒーリング ～星と海に抱かれて～	南国の星空と波の音、夜空を舞うように飛ぶ 紙灯籠などの映像や音色で幻想的な世界に 引き込まれるような作品	153回	3,477人
はじめてのプラネタリウム それいけアンパンマン ～星の色と空の色～	はじめてプラネタリウムを見る低年齢層向 けの作品。星の色や空の色についてのおはな し。	36回	2,439人

b プラネタリウム幼児番組

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた20分前後の番組を製作・
投影している。

番組タイトル	テ ー マ	投影回数	観覧者数	投影期間
わんわんわん	冬から春の星座、おおいぬ座、 こいぬ座	50回	1,794人	4/1～30
よぞらのどうぶつえん	春の星座、動物星座	51回	1,601人	5/1～6/30
やまねこのかくれんぼ	やまねこ座を探す話	51回	1,784人	6/1～30、11/3
なつのほしとたなばた	夏の星座、七夕伝説	113回	7,200人	7/1～8/31
かぐやひめ	秋の星座、かぐやひめの話	46回	1,558人	9/1～30
ほしぞらえいご☆せいざ のやかたのハロウィン	秋の星座、惑星の話	47回	1,422人	10/1～31
クリスマスのふしぎ	冬の星座、クリスマスの話	98回	3,065人	11/1～12/31
ふゆのきょうだいぼし	冬の星座、ふたご座の話	93回	2,072人	1/1～2/29
わんわんわん	冬から春の星座、おおいぬ座、 こいぬ座	54回	2,214人	3/1～31

c プラネタリウム学習番組

時間や天候などの制約が多い実天観測に代えて、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説
することで、天文・宇宙に対する理解を促す。

番組内容	対 象	投影回数	観覧者数
かげと太陽（太陽の動きと影のでき方）	小学3年生	3回	116人
月と季節の星座（月の形と動き、季節の星座）	小学4年生	8回	181人
月と太陽（月の満ち欠け）	小学6年生	8回	417人
地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	中学生	6回	358人
太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）		2回	152人

d プラネタリウム特別番組

番組タイトル	内 容	観覧者数	投影日
旭川からは見えない南の星空	旭川からは見ることができない南半球の星空を紹介する特別番組	101人	6/22、23
プラ寝たりうむ	11月23日の日の入りから翌日の日の出まで星空を回しながら環境音やBGMを流す特別番組	90人	11/23
今日の星空 クリスマスヴァージョン	今日の星空解説と、クリスマスにちなんだ天文情報やエピソードを紹介する番組	182人	12/21、22
今日の星空とプラネタリウムでスマホ撮り	今日の星空解説と、プラネタリウムの星空を撮影できる番組	85人	1/2
今日の星空 バレンタインヴァージョン	今日の星空解説と、バレンタインにちなんだ天文情報やエピソードを紹介する番組	124人	2/8,9

ウ プラネタリウムの学校授業での活用

内 容	参加者数	開 催 日
学校指導要領に沿った内容の「学習番組」を作成・投影	174人	10/2、11/15、12/19、12/20

(2) 天文台事業

ア 天文台見学

内 容	参加者数	開 催 日
開館時の天文台公開、昼間に見える恒星、惑星、衛星（月）の観測	12,474人	4月～3月

イ 星の教室

内 容	参加者数	開 催 日
皆既日食観測報告 ～2024/4/8 北アメリカ大陸横断皆既日食～	45人	5/26
「天体パルサーを発見した女性天文学者ベル」～大発見にもかかわらずノーベル賞をとれなかった大学院生の物語～	32人	7/28
秋の星の楽しみ方～星座の見つけ方・歴史・神話について～	40人	9/22
オーロラ：太陽と地球が織りなす物語	43人	11/24
今年の天文現象 2025	58人	1/26
「ジェームズ・ウェブ宇宙望遠鏡とその観測成果」 ～宇宙の始まりに連れて行ってくれるタイムマシン～	49人	3/30

ウ 親子天文博士

内 容	参加者数	開 催 日
親子で天体望遠鏡の組立・設置・観測体験	37人	7/14、9/15

エ 天体を見る会

内 容	参加者数	開 催 日
春の星と月の観測	104 人	4/14、5/18 6/15
春・夏の星と月の観測	46 人	7/13
夏の星と土星・月の観測	49 人	8/17
秋の星と土星・海王星・月の観測	37 人	9/14
中秋の名月と土星・海王星の観測	41 人	9/17
秋の星と土星・海王星・天王星・月の観測	53 人	10/12
秋の星と土星・木星・海王星・天王星・月の観測	46 人	11/9
秋・冬の星と土星・木星・海王星・天王星の観測	40 人	12/14
冬の星と火星・木星・天皇星・月の観測	138 人	1/12、2/8 3/8

オ 出張天文教室

内 容	参加者数	開 催 日
キャンドルナイト天体観測 (CoCoDe 主催)	70 人	6/8
江丹別公民館 市民天体観測	41 人	8/18、31
空の日・旭川空港星空観測会	48 人	9/7
ジオキャン!天体観測	29 人	10/5

カ 夏・冬休み天文教室

内 容	参加者数	開 催 日
天体望遠鏡の製作 (夏休み)	9 人	7/31
天体望遠鏡の製作 (冬休み)	5 人	12/27

キ コズミック・カレッジ

内 容	参加者数	開 催 日
ゴム動力飛行機の製作と試験飛行	9 人	8/ 1

ク 天体を撮る会

内 容	参加者数	開 催 日
天体の撮影体験	15 人	11/14~17

ケ その他の天文関係イベント

内 容	参加者数	開 催 日
天文普及講演会 放送大学 谷口義明教授講演会	92 人	9/23
天体観望会・特別開催	123 人	10/16~17
JAXA H3 ロケット打ち上げパブリックビューイング	64 人	11/4

5 学校等連携・人材育成事業

(1) 学校等連携事業

ア 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工工作・地学実習などのメニューを実施。

内 容	参加者数	開 催 日
「超低温の実験」、「科学マジック」、「スライム」、「万華鏡づくり」、「SDGs講座」など	1,304人	通年で実施

イ プラネタリウムの学校授業での活用（再掲）

学 校	参加者数	開 催 日
上川町立上川中学校	55人	10/2
和寒町立和寒中学校	24人	11/15
旭川市立西神楽中学校	42人	12/19
鷹栖町立鷹栖中学校	53人	12/20

ウ 巡回実験教室

団体からの要望に応じて職員が出向き、サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

内 容	参加者数	開 催 日
超低温の実験、無限の箱、科学マジック	78人	原則として整理休館日 (2回実施)

エ 学校授業・課外活動の受け入れ

学校名	内 容	参加者数	開 催 日
東陽中学校	職場体験	5人	9/26
光陽中学校	職場体験	2人	10/22
春光台中学校	職場体験	1人	10/24
永嶺高等学校	授業受け入れ	3人	7/30

(2) 人材育成事業

ア 実習生の受入れ

博物館法施行規則第1条に基づき行われる学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習を、旭川市博物館と一体的に実施。実習の一環でサイエンスショーの実演を行った。

実習生の受入人数：3人

実 習 日：8/23～8/25

内 容	参加者数	開 催 日
スライムハンド体験会	46人	8/24
大学生のサイエンスショー	103人	8/25
葉っぱワークショップ	51人	8/25

6 ボランティア等との連携事業

科学のおもしろさや学ぶ楽しさを、子供たちに伝えたいという人たちが参加する団体「サイエンスボランティア旭川」や「科学館のアテンダント業務を行う委託業者」による、旭川市科学館の事業運営のサポート及び科学の普及活動。

6-1 サイエンスボランティア旭川

(1) 概要

- ア 団体名 サイエンスボランティア旭川
 イ 代表者 鈴木 紘一（令和6年度）
 ウ 設立年月日 平成16年5月15日
 エ 登録会員数 86名（うち事務局員6名） ※令和7年3月末日現在

(2) 令和6年度従事者数（半日単位）

月	従事日数	延べ従事者数	月	従事日数	延べ従事者数
4月	25日	255人	10月	26日	295人
5月	26日	271人	11月	25日	269人
6月	25日	263人	12月	25日	269人
7月	27日	328人	1月	22日	258人
8月	28日	325人	2月	23日	250人
9月	24日	256人	3月	27日	281人
			合計	303日	3,320人

(3) 活動の内容

科学館の運営及び 事業の支援	常設展示機器運営・サポート，展示案内・説明，レファレンスルーム管理ほか
自主事業の企画・実施	「日曜ワークショップ」，「大人の教室」，「学生の科学展」等の開催

(4) 自主事業

内 容	参加者数	開 催 日
日曜ワークショップ	821人	4/21、5/12、19、26、6/2、16、23、30、7/7、14、8/25、9/8、22、29、10/6、13、11/17、12/1、15、22、1/19、26、2/2、16、23、3/9(計26回)
(春休み) かんたん工作	63人	3/27、28 (計2回)
(夏休み) かんたん工作	142人	7/27～8/22 (計8回)
(冬休み) かんたん工作	50人	1/11、1/13 (計2回)
大人の教室	27人	12/5、2/27 (計2回)
出前ワークショップ	63人	8/4、20、10/20、1/9 (計4回)
感じる数学 2024in 旭川	706人	7/31～8/4
旭川学生の科学展 2024	1,596人	1/12

※「出前ワークショップ」については、科学館利用者数として計上していない

(5) 問合せ先

【サイエンスボランティア旭川事務局】

〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目 旭川市科学館内
 TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310
 ホームページ <http://asascience.blog.fc2.com/>
 E-mail science_asahikawa@yahoo.co.jp

6-2 アテンダント業務委託業者

- (1) 事業者名 ダイビ株式会社
- (2) 自主事業

内 容	参加者数	開 催 日
ペーパークロマトグラフィティー	169 人	11/3
シーグラスと小枝を使った作品づくり	21 人	2/7

Ⅲ その他の取組

1 調査研究活動

- (1) 太陽黒点や惑星・月などの天体観測

内 容	回 数	観測日
太陽黒点	96	4/1～3/31
日食観測	1	4/9
月面観測	1	11/14
流星観測	2	8/12、8/13
星雲撮影	2	11/14、11/15
太陽撮影	2	8/12、8/13
彗星撮影	2	10/16、10/17
低緯度オーロラ	2	8/12、8/13
火球	1	5/14

- (2) 野外自然観察空間の生態系調査 (隔年実施) (単位：種)

年度 調査対象		2014 年	2016 年	2018 年	2020 年	2022 年	2023 年	2024 年
		(H26)	(H28)	(H30)	(R2)	(R4)	(R5)	(R6)
植物	植樹地	61	66	68	69	92		82
	池周辺	37	40	56	28	25		25
昆虫		118					30	
鳥類		10						
小型哺乳類		1	2	0	0			

2 刊行物

- (1) 旭川市科学館報 (令和 5 年度版) 令和 6 年 6 月発行、全 30 頁
 - ア 旭川市科学館の概要
 - イ 学習普及活動の内容
 - ウ 調査研究活動/情報提供活動など
 - エ 旭川市科学館利用案内
- (2) 旭川市科学館研究報告第 20 号/旭川市博物館研究報告第 31 号
 - 令和 7 年 3 月発行、全 36 頁 (うち科学館研究報告 31 頁)
 - ア 石狩川水系忠別川におけるサクラマスとシロザケの産卵床数の 2024 年の記録

- イ 旭川市科学館野外自然観察空間の生態系調査について
- ウ シリウスBの位置測定と軌道計算
- エ 旭川市における長期太陽黒点観測と太陽活動の解析
- オ 令和6年度旭川市科学館企画展「ヒグマの科学」について

(3) 北における天文略表 令和7年1月発行、全23頁

- ア 日の出・入と薄明時間
- イ 月の出・入と月齢
- ウ 2025年の主な天文現象 ほか

3 広報活動

- (1) 広報誌「こうほう旭川市民あさひばし」での事業案内、利用案内等の掲載
- (2) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供、取材対応
- (3) 科学館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布
- (4) 各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布
- (5) ホームページやSNSを通じて利用案内や事業情報等を発信
- (6) 「旭川市科学館報」の発行、配布
- (7) 館内に事業活動を紹介するコーナーの設置
- (8) YouTube サイパルチャンネルで動画を配信

		動画数	再生数
令和6年度	実験	61 番組	27,362 回
	工作	24 番組	12,161 回
	常設展示室	4 番組	1,222 回
	展示	2 番組	75 回
	プラネタリウム	24 番組	10,455 回
	ワークショップ	5 番組	3,752 回
	講演	2 番組	229 回
	合計	122 番組	55,256 回

1日あたり平均視聴回数：151回 チャンネル登録者数：1,280人 平均視聴時間：1分54秒



テック・ラボ 公式X



YouTube サイパルチャンネル

4 旭川市科学館施設整備基金

- (1) 設置目的 旭川市科学館の展示施設の整備及び科学館事業に必要な経費の財源に充てるため
 (2) 設置年月日 令和3年2月25日
 (3) 根拠条例 旭川市科学館施設整備基金条例（令和3年旭川市条例第4号）
 (4) 残高等の推移 (単位：円)

年度	前年度末 現在高	新規寄附金	運用 利子	取崩額	年度末 現在高	取崩の用途
R2	—	14,000,000	10	0	14,000,010	
R3	14,000,010	1,833,410	9,100	12,350,696	3,491,824	常設展示整備（いまの地球とみらいの地球、錯覚いろいろコーナー）、テックラボ新設
R4	3,491,824	61,694,997	752	841,937	64,345,636	特別展開催費負担金、常設展示整備等
R5	64,345,636	5,525,625	12,880	39,715,549	30,168,592	常設展示設備（10TOWN、錯覚いろいろコーナー、VR展示、サイエンスシアター）、テックラボ
R6	30,168,592	6,749,130	17,996	148,920	36,786,816	錯覚展示整備

- (5) 寄附件数の推移 (単位：件)

年度	ふるさと納税	直接寄附	募金箱※1	件数計
R2	—	1	—	1
R3	211	1	1	213
R4	225	1	1	227
R5	603	1	1	605
R6	578	1	1	580

※1 件数確認不能のため年度で1件とした

IV 旭川市科学館利用案内

1 開館時間・休館日

- (1) 開館時間 午前9時30分から午後5時まで（観覧のための入館は午後4時30分まで）
 (2) 休館日
 【毎週月曜日】 当該日が祝日に当たるときは、休日を経過した最初の平日
 【年末年始】 12月30日から翌年1月4日まで
 【毎月末日】 土日祝日に当たるときは、その月末の平日

※施設利用者の動向及びイベントの開催予定を踏まえ、臨時開館日を別に設けている

2 観覧料

中学生以下の観覧料は無料。大人・高校生の観覧料は次のとおり。

(1) 1日または1回の料金

科学館		博物館	観覧料 (円)			
常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	常設展示室 (1日)	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●	—	—	410	320	280	210
—	●	—	330	260	220	170
●	●	—	520	410	350	280
●	—	●	530	430	350	280
—	●	●	470	370	310	240
●	●	●	760	620	510	400

※団体料金は、同じ料金区分の者が20名以上の場合に適用

※次に該当する者の観覧料を免除

- ア 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- イ 介護保険法に定める要介護者及びその介助者（介助対象者と同人数まで）
- ウ 児童生徒等を引率する教職員の方
- エ 団体見学申込書による一般団体引率者の方（1/10の人数まで）

※次に該当する者の観覧料を5割減額

- ア 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町在住の満70歳以上の方
- イ 旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体

※特別展・企画展については、その都度実行委員会が定める額

(2) 年間パスポート

対象施設を何度でも観覧できるパスポートを販売している。（有効期間：利用開始日から1年間）

種類	対象施設	料金 (円/枚)		販売場所			
		大人	高校生	科学館	博物館	旭山動物園	市内公共施設売店
科学館パスポート	常設展示室 プラネタリウム	1,040	660	●	●	—	●
博物館・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 博物館（常設展示）	1,560	1,040	●	●	—	●
動物園・科学館 共通パスポート	常設展示室 プラネタリウム 旭山動物園	2,230	—	●	—	●	●



3 貸室事業

1階の「特別展示室」と「学習・研修室」を、科学館事業等で使用しないときに、学会や市民団体等の各種イベント会場として貸出している。

(1) 貸室使用料

使用区分		時間区分		午 前	午 後	全 日
				9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室			6,110円	6,110円	12,220円
	1/2室			3,050円	3,050円	6,110円
学習・研修室	全室			4,860円	4,860円	9,720円
	1/2室			2,430円	2,430円	4,860円

※使用時間に参加者受付等に要する時間を含む。

※準備、原状回復（会場設営、回復、搬出、搬入）に使用する場合は上記料金の5割に相当する額。

※冷房料（7/1～8/31）及び暖房料（11/1～翌年4/30）を別途徴収

※使用者の過半数が30歳未満で、かつ公共的・公益的な活動を目的として使用する場合は使用料の5割を減免

(2) 令和6年度の使用実績

使用区分		時間区分		午 前	午 後	全 日
				9時30分～13時00分	13時30分～17時00分	9時30分～17時00分
特別展示室	全室			0件	1件	2件
	1/2室			0件	0件	0件
学習・研修室	全室			5件	7件	4件
	1/2室			6件	5件	1件

※科学館事業による使用実績を除く

4 施設へのアクセス

起点	交通手段	路線等
J R旭川駅前 (27 番乗り場)	徒歩 25 分	—
	バス (「科学館前」下車)	①旭川電気軌道バス 82 番線 「南高前行き」乗車 ②旭川電気軌道バス 84 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
1 条 8 丁目 (17 番乗り場)		旭川電気軌道バス 33 番線 「共栄バスセンター行き」乗車
J R 旭川四条駅	徒歩 15 分	—
旭川空港	バス (「宮前通東」下車) 徒歩 5 分	・旭川電気軌道バス 77 番線 「旭川市内行き」
その他	自動車	・旭川鷹栖 I.C. から約 25 分 ・旭川北 I.C. から約 45 分



令和6(2024)年度版
旭川市科学館報 Vol.17
令和7年5月発行

発行者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号
TEL 0166-31-3186 FAX 0166-31-3310
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>
メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

旭川市科学館ホームページ



旭川市科学館
X (旧 Twitter)



サイパルチャンネル
(YouTube)



旭川市科学館天文チーム
X (旧 Twitter)



テック・ラボ
(Instagram)



テック・ラボ
X (旧 Twitter)

